

評価事例 6

単 元 名	第5学年 Unit 6 What would you like?
単元の目標	自分の考えをよく知ってもらったり、相手の考えをよく知ったりするために、丁寧に料理を注文したり、注文に応じたりして伝え合うことができる。 「話すこと [やり取り] ア」
言語活動	フードコートで、ALTから1000円以内でおすすめのランチを注文してほしいと頼まれるという状況を設定する。ALTのために選んだメニューを店員役の児童と伝え合うために、丁寧に料理を注文したり、注文に応じたりする。料理のカードはワークシートに貼り、ランチセットにしてALTに渡す。

評価の進め方

児童を8つのグループに分け、お店を4カ所作っておく。グループごとに、店員役とお客さん役を担当し、注文したり、注文に応じたりするやり取りを行う。やり取りを行う際は1対1で対話させる。例えば、グループ全員が店員役を終えたらお客さん役を行うというように、役割を交代する。教員とALTは、やり取りの様子を見ながら分担して評価をする。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈知識〉 食べ物や飲み物、値段などを表す語句や What would you like? I'd like ~. How much is it? It's ~ yen. の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 自分や相手の欲しい料理について、上記の語句や表現等を用いて、料理を注文したり、それに応じたりする技能を身に付けている。</p>	<p>自分の考えをよく知ってもらったり、相手の考えをよく知ったりするために、丁寧に料理を注文したり、注文に応じたりして伝え合っている。</p>	<p>自分の考えをよく知ってもらったり、相手の考えをよく知ったりするために、丁寧に料理を注文したり、注文に応じたりして伝え合おうとしている。</p>



思考・判断・表現の判断基準

A：十分満足できる状況	「B」に加えて、既習の語句や表現を用いて、場面に応じたやり取りをしている。
B：おおむね満足できる状況	欲しい料理について、丁寧に注文したり、それに応じたりしている。
C：努力を要する状況	「B」を満たしていない。

評価例 (S = 児童, T = 教員)

Aとなる例	Bとなる例	Cとなる例
<p>S1: What would you like? S2: I'd like a sandwich and coffee. S1: <u>A sandwich and coffee?</u>① S2: Yes. <u>I'd like hot coffee.</u>② S1: (絵カードを渡して) Here you are. S2: How much is it? S1: <u>A sandwich is 180 yen. Coffee is 150 yen.</u>③ 330 yen, please. S2: OK.</p>	<p>S1: What would you like? S2: I'd like a sandwich and coffee. S1: (絵カードを渡して) Here you are. S2: How much is it? S1: 330 yen, please. S2: OK.</p>	<p>S1: What would you like? S2: Sandwich. Coffee. How much is it? S1: ... T: 値段はいくらですか。 S1: ... T: 330 yen, please. S2: OK.</p>
<p>理由 S1は、丁寧にやり取りをしているだけでなく、①A sandwich and hot coffee?と注文を繰り返したり、③A sandwich is 180 yen. Coffee is 150 yen.とそれぞれの金額を伝えたりして、場面に応じたやり取りをしている。 S2は、丁寧に欲しい料理を注文しているだけでなく、②I'd like hot coffee.と欲しいものを具体的に伝えて、場面に応じたやり取りをしている。</p>	<p>理由 S1は、丁寧に欲しい料理を尋ね、注文に応じて絵カードを渡したり、合計金額を答えたりしている。 S2は、丁寧に欲しい料理を伝えたり、値段を尋ねたりして注文している。 ピクチャーディクショナリーなどを使用し、メニュー表を見ながら合計金額を答えるが、合計金額を答える際は、電卓などを使用してよい。</p>	<p>理由 S1は、丁寧に欲しい料理を尋ねているが、値段を答えていないので、注文に応じることができていない。 S2は、語句だけで会話しているので、丁寧に注文しているとは言えない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「C：努力を要する状況」と判断した児童に対する指導や支援については、「指導・支援アイデア集」を参照</p> </div>

指導のポイント

- ・ALTの好きな食べ物や嫌いな食べ物などについてインタビューする時間を設ける。
- ・教室をフードコートのようにするなど場の設定を工夫することで、児童の意欲を高める。